

第六期 「まちはキャンパス、人は教科書」

あしたの学校は、2007年に設立し、2年間の準備期間を経て、2009年に第1期を開講しました。これまでに、5期100名を超える若者が学び、地域に根付いた活動を続けている方もたくさんいます。また、活動を通してできた地域のネットワークや、同世代との交流、そして、これまでの活動で蓄積してきたノウハウを活かした活動支援など、あしたの学校への期待が高まってきています。

これまで、まちなかの取組と若者がつながる機会や、成長・活躍できる場、様々なチャレンジができる環境が少なかった水戸ですが、第六期では、①チャレンジ、②仲間、③ホームという、あしたの学校の役割を意識し、「まちはキャンパス、人は教科書」というテーマを掲げ、授業を行っていきます。

◆授業スケジュール◆

月曜夜に学校を終えた学生や、仕事帰りの社会人が集まり“授業”を行います。

8/17(月)、9/7(月)、9/14(月)、10/5(月)、10/19(月)、11/2(月)、11/16(月)、  
12/7(月)、12/21(月)、1/18(月)、1/25(月)、2/8(月)、2/22(月) (修了式)

※授業時間は 19:00～21:30

◆教室◆

茨城県立青少年会館 2階 中研修室1 (水戸市緑町1-1-18)

◆年間授業料

社会人/15,000円 学生/5,000円 (社会人学生は除く)

※年間授業料は、最初に参加した授業の際にお支払いいただきます。

※領収証を発行いたします。

※六期生は、翌年度総会開催まであしたの学校正会員扱いとなります。

※正会員は、総会での発言権・議決権を有します。

◆申込み方法◆

メールまたは電話にて、下記内容を添えてお申込みいただくか、入学願書に詳細を記入し、FAXをお送りください。

<電話・メールでのお申込み>

TEL : 029-300-1738 MAIL : ashitanogakkou@gmail.com

●メールの場合、タイトルに「六期生申込み」と入力してお送りください。

①氏名・ふりがな ②郵便番号・住所 ③生年月日・年齢 ④所属 (学校名・会社名など)

⑤携帯電話番号 ⑥携帯電話メールアドレス ⑦パソコンメールアドレス

<FAXでのお申込み>

入学願書に必要な事項を記入し、あしたの学校職員室まで FAXをお送りください。

FAX : 029-300-1739 (NPO 法人雇用人材協会内 佐川宛て)

## 1. よのな科

誰にでも人生で未経験なものがあると思います。未経験なことが恥ずかしくて、話すことさえできない、あんなこと、こんなこと。よのな科では、そういった未経験なものを実感することを通して、ある特定の世界を知ってもらうために、今年度のテーマを「現実入門」とします。

「現実入門」は、詩人の穂村弘さんのエッセイ「現実入門」からきています。「現実入門」では、海外旅行、占い、合コン、献血、結婚、モデルハウス見学など、穂村さん自身が未経験なものについて、実際に体験してみた感想が、おもしろおかしくまとめられています。

きっとみなさんの人生の中にも未経験なものがたくさんあるはずです。そういったみなさんが未経験そうなものについて、既に経験している方を招いて、そのリアリティ（面白さや苦勞など）を聞いて、世の中を知ってもらうとともに、現実入門をしてもらいます。できれば、課外授業で、「現実入門の旅」などもできたらいいなと考えています。

（講師案）以下から、八つの授業に絞り込みます。

- ・ 車イス入門 齊藤信之センセイ（スピニング・フープス・レボリューション）
- ・ ワイン製造入門 宮本紘太郎（宮本酒店：水戸ワイン製造中）
- ・ クラブ入門 三浦慎之介（VOICE）
- ・ 映画撮影入門 寺門義典（茨城県水戸生涯学習センター：シネマ 310+ 1）
- ・ 選挙入門 川崎アツシ（元水戸市議会議員）
- ・ アロマ入門 鈴木壮哉（アロマショップナチュラルリスト）
- ・ 現代アート入門 中崎透（現代美術家、ナデガタ・インスタント・パーティー）
- ・ 妖怪入門 市川寛也（筑波大学助教、妖怪研究家）
- ・ サッカークラブ経営入門 沼田邦郎（水戸ホーリーホック社長）
- ・ 現実入門 受講生及び運営委員

（未経験で達成したものを報告してもらう。レポートまたは発表）

## 2. みとまちな科

年間テーマ：「水戸の現場から」

みとまちな科は、第六期も水戸のまちにこだわった授業を行います。

3科全体の授業方針である「まちはキャンパス、人は教科書」では、特に「まちはキャンパス」の部分を担当することになります。まちとは私たちにとって「現場」です。

このため、よのな科との連携を強化し、テーマ「現実入門」に基づくよのな科のカリキュラムで未知の世界を知る楽しみというものを習得し、好奇心が高まった状況を作り出したところで、水戸のまちを知る切り口や、知っておくべきことを学ぶという、プロセスを用意します。

水戸のまちを歩いていると、「なぜこの場所はこういうふうになっているのだろう」という場面に出くわすことがあります。みとまちな科では、そのような事象を生み出す原因や水戸ならではの仕組み（ヒト、モノ、コト、地形、商売、建築物、まつり、不動産などなど）を理解することで、水戸という場所で生きていくための知恵や、水戸をより楽しむための知恵を考えるための、土台を築くことを目指します。

### 3. どういきる科

実社会を生き抜くチカラ 「実社会に必要なチカラ」を身につけ「自分らしい生き方」を見出す

どういきる科では、よのな科の「現実」、みとまちな科の「現場」を活かしていくために、様々な人の生き方を教科書にして、「実社会」を生き抜くチカラを学びます。その上で、自分の興味や得意分野を大切に、自分らしい生き方を見出していきます。

「未来を恐れず、過去に執着せず、今を生きる。」

ホリエモンこと堀江貴文氏が、近畿大学卒業式のスピーチのクライマックスに贈った力強いメッセージは、厳しい実社会を生き抜く上で、今何をすべきなのか、一つの明確な方針を示してくれました。それは、「今を一生懸命生きること」です。

これまでの学校では、社会に出る上で必要な、いつの時代も変わらない当たり前の知識を教わってきましたが、その時代時代に必要とされる社会での生き方を教わる機会はありませんでした。また、決まったレールの上を歩む時代ではなく、自分がどんな生き方をしたいのかが将来設計をする上で大事な判断材料の一つとなっています。

そこで、あしたの学校のどういきる科の授業では、様々な生き方をしている人を教科書に、変化の激しい時代を生き抜く上で心掛けておきたい、意識の持ち方や身につけておきたいチカラを学び、自分はどんな生き方がベストフィットするのか（自分がどんな人生を過ごしたいか、社会でどんな役割を担うか、自分が大切にしている考えや価値観は何か、自分の興味や特徴をどう活かすか）、自分の持ち味を發揮した自分らしい生き方を見出していきます。

#### <3 部構成>

- ①私の生き方 → 自分で人生のレールを敷くことや、より良い人生を歩むための心がけ
- ②持ち味 → 自分の得意興味を深めて、“らしさ”を明確にする
- ③リーダーシップ → 持ち味をどう生かすか。今の時代に求められているリーダーシップ

テーマ	講師	日程
私の生き方Ⅰ ～やりたいことを仕事に～	佐々木 美季 氏	8/17
私の生き方Ⅱ ～やりたいことを仕事に～	磯山 純 氏	9/7
私の生き方Ⅲ ～人生を豊かにする継続のすゝめ～	金原 榮 氏	9/14
持ち味Ⅰ ～自分のリソースを知る・自分の棚卸～	佐川 雄太 氏	10/19
持ち味Ⅱ ～大切にしている価値・思考～	幡谷 哲太郎 氏	11/2
持ち味Ⅲ ～行動するときの特徴・態度や姿勢～	幡谷 哲太郎 氏	11/16
リーダーシップⅠ ～社会に変化を生み出すリーダーシップ～	光畑 由佳 氏	1/18
リーダーシップⅡ ～未来を創るリーダーシップ～	鬼澤 慎人 氏	1/25
リーダーシップⅢ ～私の中のリーダーシップ～	鬼澤 慎人 氏	2/8